

Japanese Unexamined Patent Application Publication No. 5-158886

[Title of the Invention] INFORMATION PROCESSING UNIT HAVING
 SCHEDULE CONTROL FUNCTION

[0018] The display processing of schedule data in an embodiment of the information processing unit of the invention will now be described with reference to Figs. 1 and 3 to 6.

[0019] When display processing is started, and the time sequential display key is pressed (step S20), a list of schedule data as shown in Fig. 3 is displayed on the display unit (step S21). In this embodiment, blank dates with no schedule are omitted. Only dates having scheduled dates are extracted, and schedule data for seven dates are displayed in sequence of date and time. Usually, a user desires to watch a future schedule display, and it is considered rare that a past schedule becomes an issue. A display therefore covers only schedules ahead of the day of display. Since the display unit can display seven schedule data, the user must refer to the eighth and subsequent schedule data by scrolling the screen by pressing the arrow key provided on the keyboard.

[0020] This would therefore permits effective use of the display unit and simultaneous confirmation of many pieces of information,

thus improving the run-through property.

[0021] When the classified display key is pressed (step S22), a classified display is conducted as shown in Fig. 4 (step S23). In the example shown in Fig. 4, a classification code 01 is set as meeting, and 02, as business trip, and schedule data about the meeting and the business trip are displayed in this sequence. Following these data, data not bearing a classification code are displayed in the date and time sequence, including blank days. Since the display unit can display only seven schedule data, the user must refer to the eighth and subsequent schedule data by scrolling the screen by pressing the arrow key.

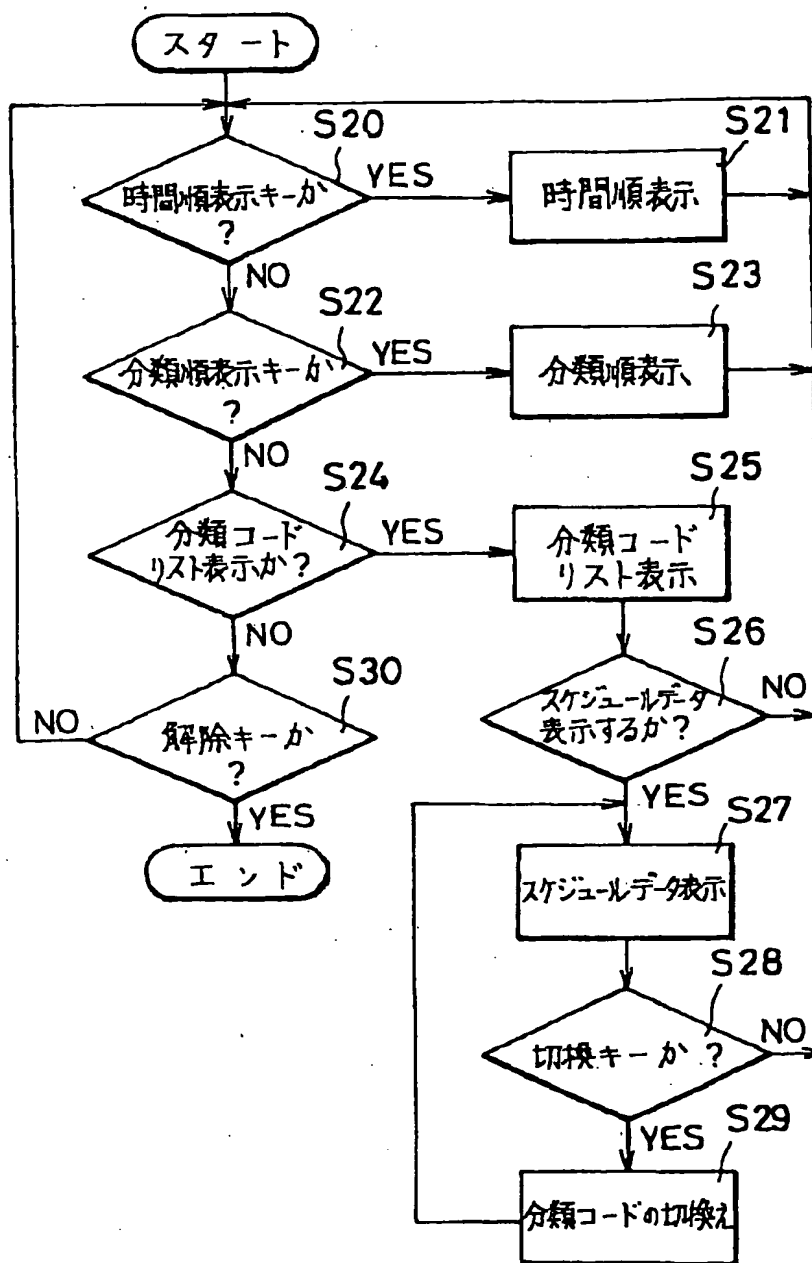
[0022] When the classification code list display key is pressed (step S24), the classification codes shown in Fig. 5 and a list of classification names are displayed (step S25). In this example, the classification code 01 set as meeting and the classification code 02 set as business trip are displayed. It is determined whether or not to display the schedule data corresponding to the classification codes (step S26). If Yes, schedule data corresponding to the classification code 01 shown in Fig. 6 are displayed (step S27). When schedule data corresponding to the other classification code are to be displayed, press the switching key (step S28), to switch over to the other classification code (step S29), and to display schedule data

corresponding to the new classification code. At this point, in the case of the classification code list shown in Fig. 5, the classification code is switched over as follows: 01 Meeting → 01 Business trip → 01 Meeting by pressing the switching key. Setting may be made so that, in the display of the list of classification codes, so that the classification codes and the classification names can be registered.

[0023] When the cancel key is pressed in the above-mentioned schedule display processing (step S30), the display process comes to an end.

[0024] Determination of the correlation between schedules in terms of contents, which has conventionally been difficult in the time-serial display, is thus made easier in the invention.

[Fig. 1]



[Fig. 1]

Start

S20: Time sequential display key?

S21: Time sequential display

S22: Classified display key?

S23: Classified display

S24: List of the classification codes

S25: Display classification code list.

S26: Display schedule data?

S27: Display schedule data.

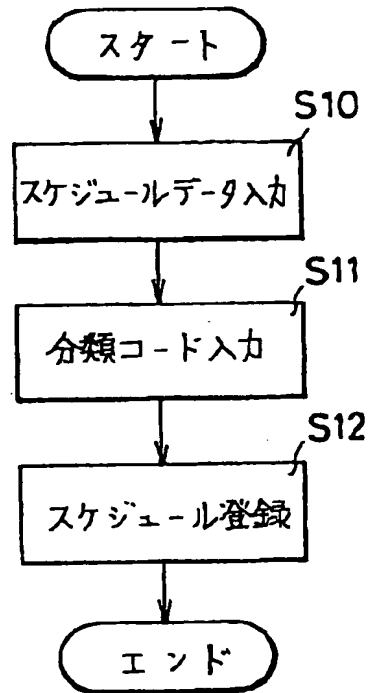
S28: Switching key?

S29: Switch classification code.

S30: Cancel key?

End

[Fig. 2]



[Fig. 2]

Start

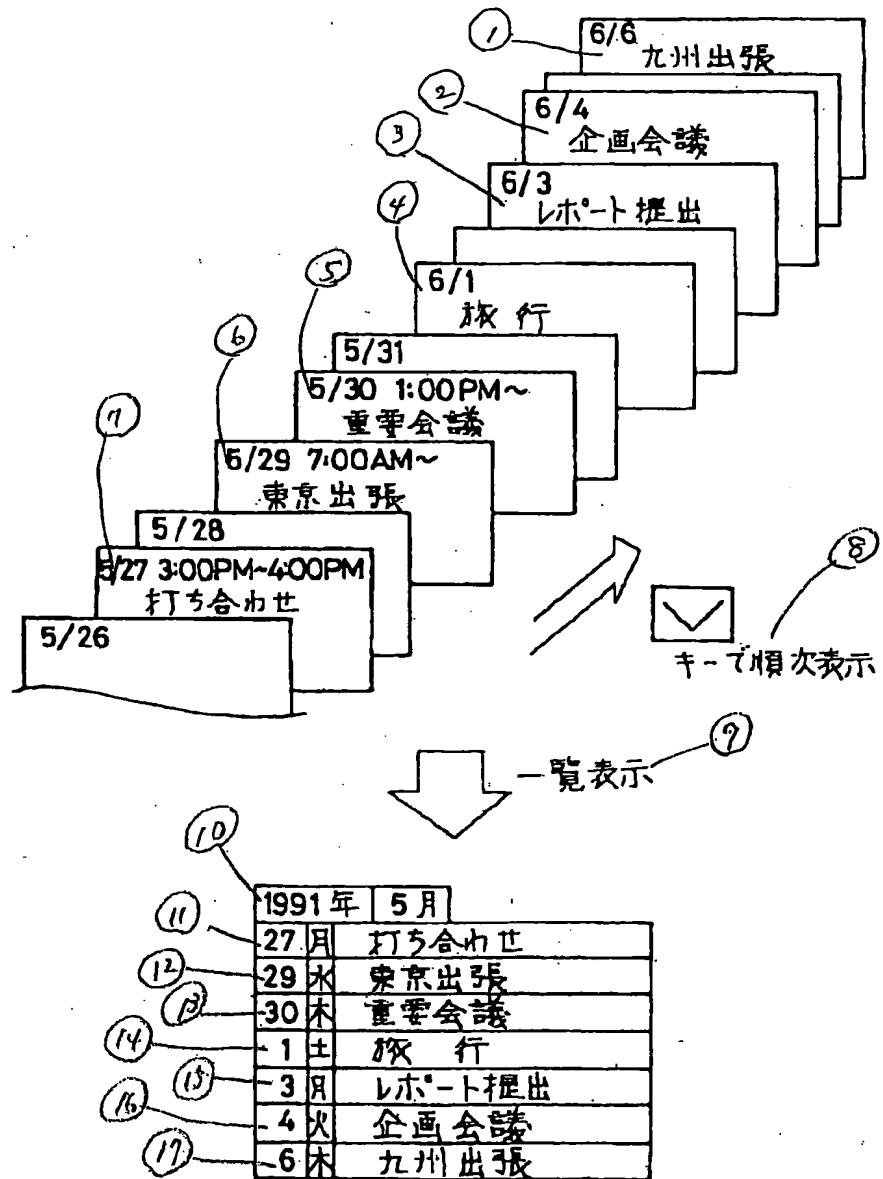
S10: Input schedule data

S11: Input classification code

S12: Register schedule.

End

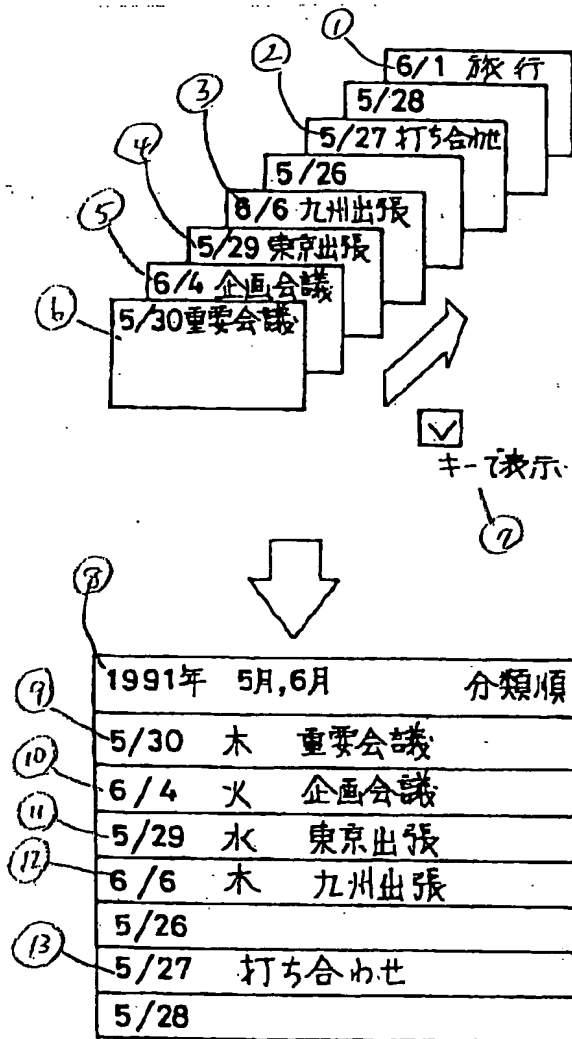
[Fig. 3]



[Fig. 3]

- (1) June 6: Business trip to Kyushu
- (2) June 4: Planning meeting
- (3) June 3: Report submitted
- (4) June 1: Travel
- (5) May 30, 1:00- : Important meeting
- (6) May 29, 7:00 am- : Business trip to Tokyo
- (7) May 27, 3:00pm-4:00pm: Preliminary meeting
- (8) Sequentially displayed by pressing key
- (9) List displayed
- (10) May 1991
- (11) 27, Monday: Preliminary meeting
- (12) 29, Wednesday: Business trip to Tokyo
- (13) 30, thursday: Important meeting
- (14) 1, Saturday: travel
- (15) 3, Monday: Report submitted
- (16) 4, Tuesday: Planning meeting
- (17) 6, thursday: Business trip to Kyushu

[Fig. 4]



[Fig. 4]

- (1) June 1: Travel
- (2) May 27: Preliminary meeting
- (3) June 6: Business trip to Kyushu
- (4) May 29: Business trip to Tokyo
- (5) June 4: Planning meeting
- (6) Important meeting
- (7) Displayed by pressing key
- (8) May & June, 1991 Classification sequence
- (9) May 30, Thursday: Important meeting
- (10) June 4, Tuesday: Planning meeting
- (11) May 29, Wednesday: Business trip to Tokyo
- (12) June 6, Thursday: Business trip to Kyushu
- (13) May 27: Preliminary meeting

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 5 - 1 5 8 8 8 6

(43) 公開日 平成5年(1993)6月25日

(51) Int. Cl. ⁵

G 0 6 F 15/02
15/21

識別記号

3 5 5 A 9194 - 5 L
L 7218 - 5 L

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1

(全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平 3 - 3 2 6 0 3 4

(22) 出願日 平成3年(1991)12月10日

(71) 出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72) 発明者 中村 京太郎

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

シャープ株式会社内

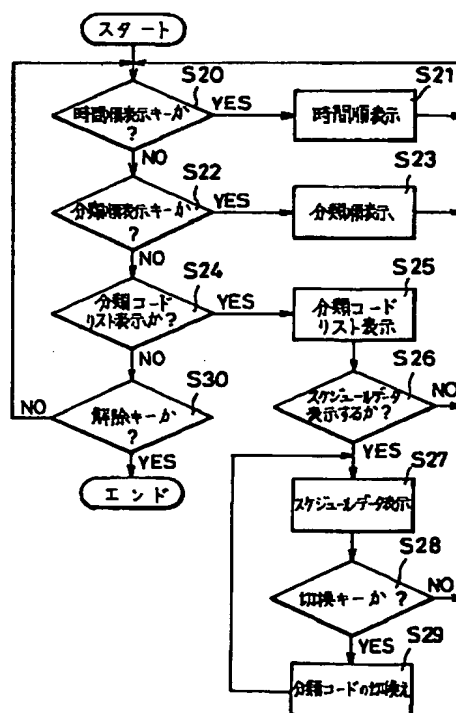
(74) 代理人 弁理士 川口 義雄 (外1名)

(54) 【発明の名称】 スケジュール管理機能を有する情報処理装置

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 多様なスケジュールの一覧機能を有しており、スケジュールを容易に一覧できる情報処理装置を提供する。

【構成】 表示処理が起動され日時表示キーが押下されると S 2 0、スケジュールデータの一覧が表示装置に表示される S 2 1。この表示では、予定日の入っている日だけが抽出され 7 日分のスケジュールデータが時間順に表示される。分類順表示キーが押下されると S 2 2、この表示がされる S 2 3。分類コードリスト表示キーが押下されると S 2 4、分類コード及び分類名のリストが表示される S 2 5。このリストが表示されると、このコードに対応するスケジュールデータを表示するか否かが判定され S 2 6、その答えが Y e s の場合は、分類コード 0 1 に対応するスケジュールデータを表示する S 2 7。次に、他の分類コードに対応するスケジュールデータを表示したい場合は、切換キーを押下して S 2 8、このデータを表示する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 スケジュールデータをその内容に応じて分類するための分類コードを該スケジュールデータに付加するための手段と、該付加手段によって付加された分類コードに応じた順番にしたがってスケジュールデータを表示するための第1の表示制御手段と、スケジュールの無い空白日時の表示を省略してスケジュールデータをスケジュールの時間順に表示するための第2の表示制御手段とを備えたことを特徴とするスケジュール管理機能を有する情報処理装置。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、スケジュール管理機能を有する情報処理装置に関し、特に電子手帳、ワードプロセッサ等の情報処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の電子手帳のスケジュールモードでは、登録されたスケジュールデータはその開始時間の順番で記憶されている。そして、呼出キーを押下することによってデータを開始時間順に一件ずつ見ることができ、また、スケジュールデータの一覧性を向上させるために、データを一日単位、又は一週間単位で表示できるようになっているものもある。

【0003】 図8に、従来の電子手帳におけるスケジュールの週間表示の一例を示す。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来の電子手帳のスケジュールモードでは、図8に示すように表示画面サイズの制限により一度に見ることができるスケジュールの件数に限りがある上に予定の無い空白日

で表示されるので、一覧性が劣るという問題点がある。**【0005】** また、スケジュールデータは、その内容に関係なく開始時刻順に表示されるので、当然時間系列的にしか把握されず、内容的に相関のあるスケジュールデータの関係を容易に把握することはできなかった。

【0006】 従って、本発明は、多様なスケジュールの一覧機能を有しており、スケジュールを容易に一覧できる情報処理装置を提供するものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明によれば、スケジュールデータをその内容に応じて分類するための分類コードを該スケジュールデータに付加するための手段と、該付加手段によって付加された分類コードに応じた順番にしたがってスケジュールデータを表示するための第1の表示制御手段と、スケジュールの無い空白日時の表示を省略してスケジュールデータをスケジュールの時間順に表示するための第2の表示制御手段とを備えた情報処理装置が提供される。

【0008】

【作用】 上記の構成によれば、分類コードを付加するた

め的手段によって、スケジュールがその内容に応じて分類される。また、分類コードに応じた順番にしたがってスケジュールデータを表示するための第1の表示制御手段によってスケジュールデータは内容に相関のあるデータ順に表示され得る。

【0009】 さらに、スケジュールの無い空白日時の表示を省略してスケジュールデータをスケジュールの時間順に表示するための第2の表示制御手段によって、限りのある表示画面が有効に使用されてスケジュールデータが時間順に表示される。

【0010】

【実施例】 以下、本発明の一実施例について図を参照して説明する。

【0011】 図1は、本発明による情報処理装置の一実施例のスケジュール表示の動作の概要を示すフローチャート図であり、図2は、スケジュール登録の動作の一例を示すフローチャート図である。図3から図6は、スケジュール表示結果の一例を示す図である。

【0012】 また、図7は本発明による情報処理装置の一実施例のシステム構成ブロック図である。

【0013】 図6において、ファンクションキー、実行キー及び解除キー等を含むキーボード10から入力されるスケジュールデータはROM11内に記憶されているプログラムにしたがってCPU12で処理され、RAM13内にスケジュールファイルとして記憶、管理され、また、表示装置14に表示される。

【0014】 情報処理装置はシステム内に時計15を有しており、必要に合わせて時計15より時間データを読み込み、スケジュールファイルにおいて時間を検索してスケジュールが迫っていることを表示装置14又はブザー16で通知することが可能である。

【0015】 次に、図2にしたがってスケジュール登録処理動作について説明する。

【0016】 まず、ユーザによってスケジュール名、日時等のスケジュールデータが入力される（ステップS10）。次に、スケジュール内容によって区別される分類コードが入力される（ステップS11）。この分類コードは、データの重要度、緊急度にしたがって、例えば01が会議、02が出張というように、予め分類名と対応づけられている。次に、ステップS10及びS11で入力されたスケジュールデータ及びこれに対応する分類コードが登録される（ステップS12）。尚、分類コードは必ずしも入力の必要がなく、入力しなかった場合は、00が分類コードとして登録される。

【0017】 この結果、後述するように、スケジュールデータをその分類の順番に表示してスケジュール内容の相関関係を把握できるように、スケジュールデータの区別化がなされる。

【0018】 次に、図1、及び図3から図6を参照しながら、本発明による情報処理装置の一実施例のスケジ

ールデータの表示処理について説明する。

【0019】表示処理が起動され、時間順表示キーが押下されると（ステップS20）、図3に示すようなスケジュールデータの一覧が表示装置に表示される（ステップS21）。本実施例では、スケジュールの無い空白日は省略され、予定日の入っている日だけが抽出され7日分のスケジュールデータが日時の順番で表示されている。また、通常、ユーザの所望するスケジュール表示は将来のスケジュールであり、過去のスケジュールが問題となることは少ないと思われるので、表示をする当日よりも先のスケジュールのみを表示する。表示装置は7つのスケジュールデータしか表示できないので、ユーザはキーボードに設けられた矢印キーを押下して画面をスクロールして8つ以降のスケジュールデータを参照しなければならない。

【0020】従って、これによって表示装置を有効に活用でき、より多くの情報を同時に確認できるので一覧性が向上することになる。

【0021】分類順表示キーが押下されると（ステップS22）、図4に示すように分類順表示がなされる（ステップS23）。図4に示す例では、分類コード01が会議、02が出張に設定されており、この順番で会議、出張に関するスケジュールデータが表示され、その後ろには分類コードを有していないデータが空白日を含めて時間順に表示される。表示装置は7つのスケジュールデータしか表示できないので、ユーザは矢印キーを押下して画面をスクロールして8つ以降のスケジュールデータを参照しなければならない。

【0022】分類コードリスト表示キーが押下されると（ステップS24）、図5に示す分類コード及び分類名のリストが表示される（ステップS25）。本例では分類コード01の会議と分類コード02の出張とが表示される。また、さらに分類コードに対応するスケジュールデータを表示するかどうか判定され（ステップS26）、その答えがYes（イエス）の場合は、図6に示す分類コード01に対応するスケジュールデータを表示する（ステップS27）。次に、他の分類コードに対応するスケジュールデータを表示したい場合は、切換キーが押下して（ステップS28）、他の分類コードに切換えて（ステップS29）、新たな分類コードに対応するスケジュールデータを表示する。この際、分類コードは、図5に示す分類コードリストの場合、01会議→02出張→01会議と切換キーを押下することによって切換えられる。尚、分類コード一覧表の表示において、分類コード及び分類名を登録できるようにしてもよい。

【0023】また、上記したスケジュール表示処理にお

いて解除キーが押下されると（ステップS30）、表示処理を終了する。

【0024】従って、これによって従来の時間系列表示では困難であった内容によるスケジュールの相関関係の把握が容易にできる。

【0025】

【発明の効果】以上詳述したように、本発明による情報処理装置は、スケジュールデータをその内容に応じて分類するための分類コードを該スケジュールデータに付加するための手段と、該付加手段によって付加された分類コードに応じた順番にしたがってスケジュールデータを表示するための第1の表示制御手段とを備えたので、時間系列表示では困難であった内容によるスケジュールの相関関係の把握が容易な表示をすることができる。さらに、スケジュールの無い空白日時を表示を省略してスケジュールデータをスケジュールの時間順に表示するための第2の表示制御手段を備えたので、表示装置を有効に活用できより多くの情報を同時に確認できるので、スケジュールを容易に一覧できる情報処理装置が提供される。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係わる情報処理装置の一実施例におけるスケジュール表示処理のフローチャート図である。

【図2】本発明に係わる情報処理装置の一実施例におけるスケジュール入力処理のフローチャート図である。

【図3】図1に示すフローチャートで時間順表示キーを押下した場合の表示を示す説明図である。

【図4】図1に示すフローチャートで分類順表示キーを押下した場合の表示を示す説明図である。

【図5】図1に示すフローチャートで分類コードリスト表示キーを押下した場合の表示を示す説明図である。

【図6】分類コード別のスケジュールデータ表示の一例を示す図である。

【図7】本発明に係わる情報処理装置の一実施例のシステム構成ブロック図である。

【図8】従来の情報処理装置におけるスケジュールデータの時間順表示の一例を示す説明図である。

【符号の説明】

10 キーボード

11 ROM

12 CPU

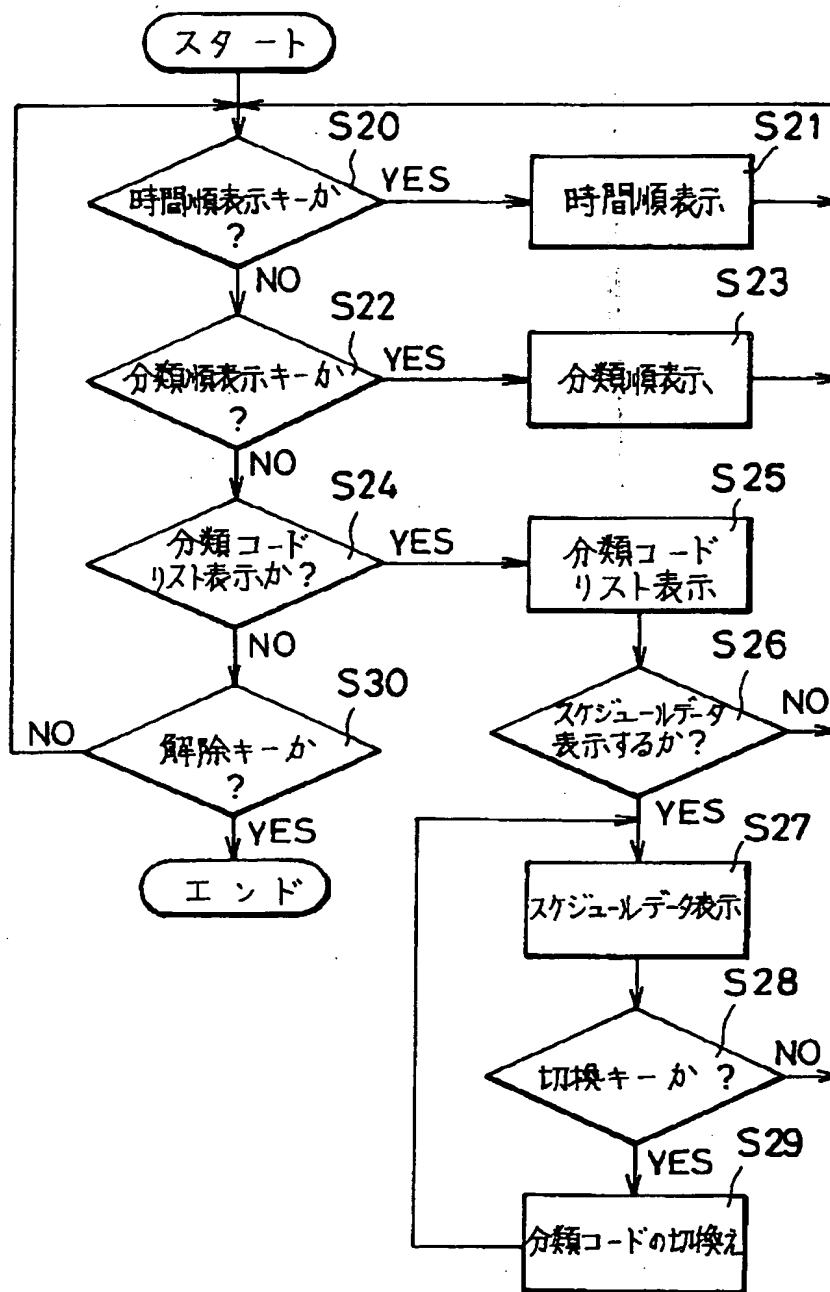
13 RAM

14 表示装置

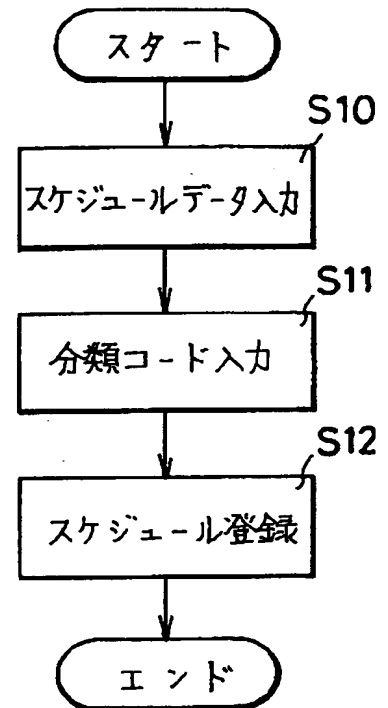
15 時計

16 ブザー

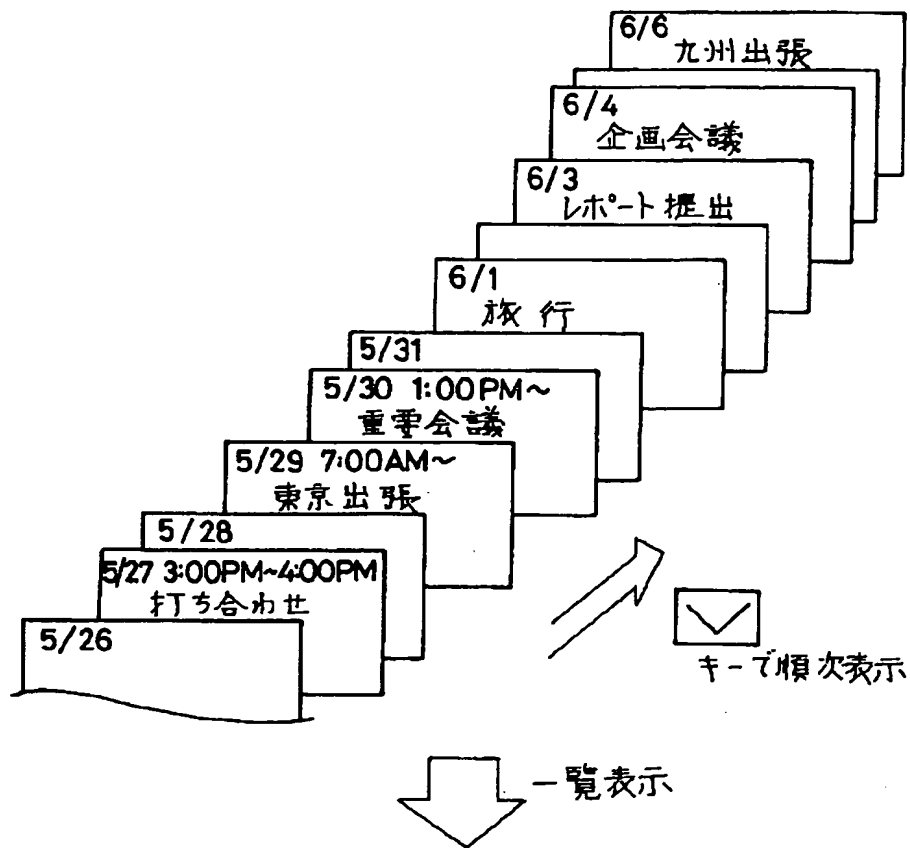
【図1】



【図2】



【図3】



1991年 5月	
27月	打ち合わせ
29水	東京出張
30木	重要会議
1土	旅行
3月	レポート提出
4火	企画会議
6木	九州出張

【図5】

分類名リスト

＜個別スケジュール＞

会議	1
出張	2

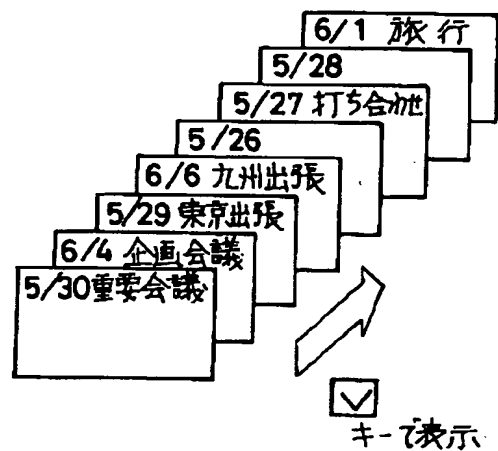
【図6】

個別スケジュール

＜分類名リスト＞

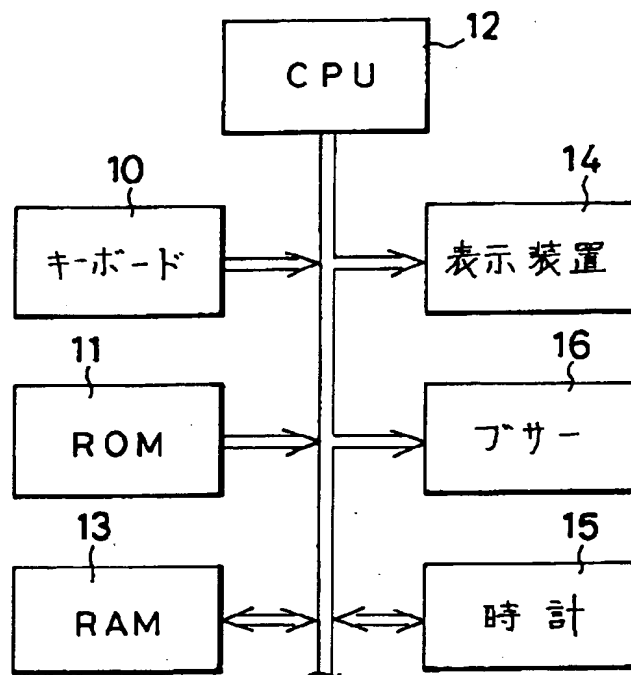
会議	(1)
5 30 木	重要会議
6 4 火	企画会議

【図4】

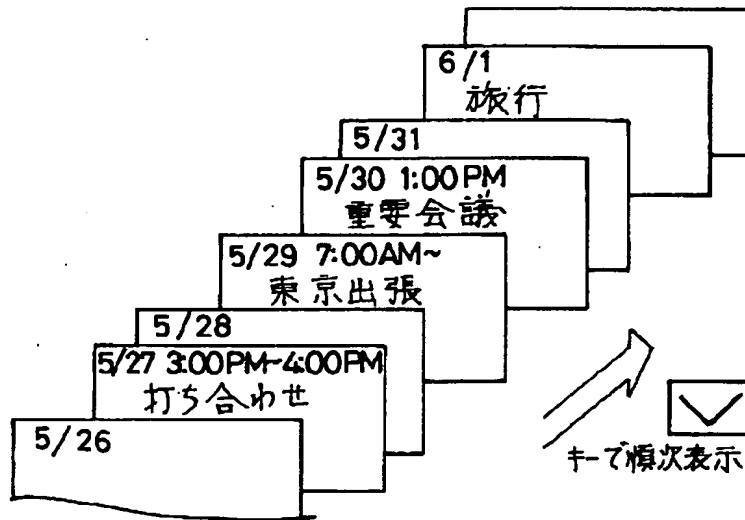


1991年 5月,6月	分類順
5/30 木 重要会議	
6/4 火 企画会議	
5/29 水 東京出張	
6/6 木 九州出張	
5/26	
5/27 打ち合わせ	
5/28	

【図7】



【図8】



週間表示

1991年		5月
26	日	
27	月	打ち合わせ
28	火	
29	水	東京出張
30	木	重要会議
31	金	
1	土	旅行